

**製品名: CA IX ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07768**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	58kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CA9 CA9; G250; MN; Carbonic anhydrase 9; Carbonate dehydratase IX; Carbonic anhydrase IX;
別名	CA-IX; CAIX; Membrane antigen MN; P54/58N; Renal cell carcinoma-associated antigen G250; RCC-associated antigen G250; pMW1
遺伝子 ID	768.0
SwissProt ID	Q16790
免疫原	抗血清はヒト CA IX 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 33-82

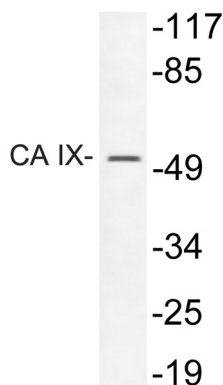
**背景**

炭酸脱水酵素 (CA) は、二酸化炭素の可逆的な水和を触媒する亜鉛金属酵素の大きなファミリーです。呼吸、石灰化、酸塩基平衡、骨吸収、房水、脳脊髄液、唾液、胃酸の生成など、様々な生物学的プロセスに関与しています。組織分布と細胞内局在は多岐にわたります。CA IX は膜貫通タンパク質であり、腫瘍関連炭酸脱水酵素アイソザイムとして知られているわずか2つのうちの1つです。すべての明細胞腎細胞癌で発現しますが、正常な腎臓や他のほとんどの正常組織では検出されません。細胞増殖と形質転換に関与している可能性があります。この遺伝子は蛍光 in situ ハイブリダイゼーションによって 17q21.2 にマッピングされましたが、放射線ハイブリッドマッピングでは 9p13-p12 に局在しました。[RefSeq 提供、2014年6月],触媒活性:  $H(2)CO(3) = CO(2) + H(2)O$ ,補因子: 亜鉛,機能: 二酸化炭素の可逆的な水和。pH 調節に関与。細胞増殖および形質転換の制御に関与している可能性がある。子宮頸部腫瘍の新規特異的バイオマーカーであると思われる。誘導: 低酸素状態による。PTM: Asn-346 は高マンノース型グリカン構造を有する。類似性:  $\alpha$ -炭酸脱水酵素ファミリーに属する。細胞内局在: 微絨毛表面および核、特に核小体に見られる。サブユニット: ジスルフィド結合によって連結されたオリゴマーを形成する。組織特異性: 主に癌細胞株で発現する。発現はごく少数の正常組織に限定されており、最も豊富な発現は胃粘膜上皮細胞で確認されています。

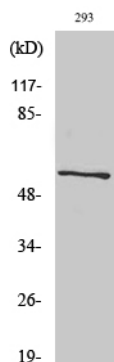
## 研究分野

窒素代謝;

## 画像データ



CA IX 抗体を使用した、インスリン処理した 293 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



CA IX ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。